

悠游たより 心游たより

第 2 5 3 号
令和 6 年

1 月

発行 新居浜生涯学習大学

〒792-0023

新居浜市繁本町 8-65

電話・FAX(0897) 33-2991

メール n-daigaku@city.niihama.lg.jp



新年明けましておめでとうございます。健やかなご越年お慶び申し上げます。旧年中はお世話になりました。今年もご一緒に楽しく学んでまいりましょう。

今年の干支は甲辰（きのえたつ）、辰は「振るう」という文字に由来し、自然万物が振動し、草木が成長して活力が旺盛になる状態を表すそうです。辰は竜（龍）、十二支の中では唯一の空想上の生き物で、昔から権力・隆盛の象徴とされ、神聖視されてきた龍は吉祥のシンボルです。ちなみに、前回の甲辰の年は 1964 年、東京オリンピックが開催された年でした。辰の年は龍のエネルギーを活かし、新たな始まりや成果を迎えるチャンスが到来すると言われます。また、天候や水を掌る存在なので、近年多発する豪雨災害などが起きない年になることを願うばかりです。

師走に若者と高年者が集う二つの研修会に参加しました。一つは、今年 16 回目を迎えた地域教育実践交流集会です。これは国立大洲青少年交流の家で開催された青少年教育に関わる人の交流の場で、今年は本格的なリアル開催でした。新型コロナの前後で大会の参加者層が一変していました。260 名の参加者の半数が 30 代以下の若者になっていました。当初は高年者がほとんどだったので、その違いに戸惑いました。ともすれば私たちは固定観念で若者を勝手に類型化してしまいます。でも、実際に対面で真摯に語り合ってみると、その姿は全く違ってきました。ある学生が語った言葉「私はこれまで、何をすべきか、そればかり探してきた。でも本当に大事なことは、どんな自分になるべきかだと思ようになった。」その言葉に反応して、高年者が熱く語り返すのを見て、これなのだと感じました。思い込みではなく、リアルな対話の先にこそ、共感できる地点が見えてくるのだと。

もう一つは、全国 ESD フォーラムです。ESD は持続可能な開発のための教育です。ここでは未来を担うユースが主役でした。右肩上がりの成長の時代を生きてきた高年者にとって、経済発展と環境保護のバランス感覚は若者と違う気がしていましたが、この大会の参加者は基本的に同じ考え方を持っていました。過去の経済発展優先の反省に立ち、当事者であるユースの意見に耳を傾けることこそが、持続可能な社会の実現に繋がるという前提の上に成り立っていました。私達の学びも対話を重視していますが、異なる考え方を出し合い、一つだけではない解決策を導き出していくことが大事なのだと改めて感じました。

今年度の生涯学習大学でも、若者達のチカラを借りることで有意義な学習ができました。別子中学校の生徒が地域の人と一緒に野菜作りに取り組む SDGs の実践、十全看護専門学校の生徒たちにサポートしてもらった YouTube 番組制作講座など、ユースパワーの素晴らしさを再認識したものです。

辰年は「新たな始まりの年」です。多様な世代が対話、共創を通じて、新しい価値を生み出していく、そんな一年にしたいと新年の計を立てました。 (文責 関)

「四季の別子山を味わう」



別子山村と新居浜市が合併したのは平成 15 年 4 月 1 日。その時には 277 人いた住民が今は半分以下に減っています。別子銅山を基に発展してきた本市にとって別子山は母なる地です。そこで今年度、自然豊かで人情味に富んだ別子山を知る講座として、「春・夏・秋・冬」の 4 回シリーズ「四季の別子山を味わう」を開講しました。講座は警報が出て延期になったり、山菜取りや栗拾いに行けなかったりと予定が変更になりました。しかし別子山の皆さんと一緒に散策したり、美味しい食事をいただきお話ししたりと、楽しい時間を過ごすことが出来ました。これからも別子山の皆さんと交流していきたいと思えます。別子山の皆様ありがとうございました。



散策するには最高のお天気でした。皆で食べた天ぷら美味しかった。



暑い夏にひと時の清涼。川は水が冷たくて気持ちよかった。



ヘリポートに行ってきました。雲一つない青空で気持ち良かった。



別子山の皆さんとお食事をし、色々とお話しました。



はじめての別子銅山「東平探訪」と 「端出場水力発電所見学と端出場探訪」 の講座を担当して

No.33

私の生涯学習

新居浜観光ガイドの会
安藤 修二



新居浜市の南側四国山地に「日本三大銅山の一つ別子銅山」がありました。元禄 4 年から昭和 48 年迄 283 年間操業していました。その跡地の一部が東平と端出場で新居浜市内の有名な観光地になっています。

私は、「新居浜観光ガイドの会」の一員として新居浜を訪れるお客様に、「判り易く」をモットーに「東洋のマチュピチュ(東平地区)」と「マイントピア別子(端出場地区)」の産業遺産群について説明しています。

11 月 2 日実施の「東平探訪」では、明治 38 年頃の産業遺産と、普段立ち入れない生活空間（調度販売所・住友別子病院・娯楽場・保育園）跡や第三地区・第三通洞付近を説明し別子銅山の奥深さを感じてもらえたのではと思っています。

11 月 16 日実施の「端出場水力発電所見学と端出場探訪」では、昭和 2 年頃の写真を元に現マイントピア別子駐車場周辺の施設と役割を説明しました。

端出場水力発電所は明治 45 年から昭和 45 年迄、別子銅山の電気の心臓部として活躍しました。発電所は平成 22 年国指定登録有形文化財になり一般公開に向けた耐震工事内容を説明しました。今回の工事はマイントピア別子からの眺望を一番に考えて実施したとのことで、令和 5 年 3 月 28 日から一般公開を始めました。

設置当初からのドイツシーメンス製の発電機・调速機や大理石製の配電盤や銅山川から取水した発電水 7km のルート等説明してもしきれない容量でした。又、新居浜市が AR 技術(拡張現実)を駆使して製作したペルトン水車へ発電水が射水する動画を見てもらいました。

端出場探訪では、端出場地域の開発や第四通洞の重要性と、昭和 24 年以前と以降の貯鉱庫への投入方法を説明しました。昭和 24 年以前は高低差を利用したチップラー装置、以降は鉱車自体の構造改善です。ただ、インターネット回線の不具合により決定的な動画が見てもらえなかったのが残念でなりません。

今回の 2 講座共、説明の内容には、問題点は多々あったと思いますが、好天に恵まれ、三時間の長丁場を全員が無事完歩出来たことが、講師としてはこれ以上のない結果であったと感じます。受講生の皆様及び計画・準備をしていただいた生涯学習スタッフの皆様本当にありがとうございました。





※警報や災害・講師の都合などで日程を変更することがあります。

日	曜	時間	聴	講座名	回	テーマ	会場
7	水	9:30	◎	新・雑談しま専科	9	雑談パート⑥	生涯学習センター研修室
13	火	13:30		大人の日本史★追加	4	南北朝時代の意味を探る	生涯学習センター研修室
14	水	10:00	◎	懐かしの心の唄講座	8	懐かしい歌を唄う	文セン別館中ホール
		14:00	◎	人生百年医学講座	8	子供と楽しく上手に関わる	文セン別館中ホール
27	火	13:30		大人の日本史講座	5	上杉謙信と武田信玄の相克	文セン別館視聴覚教室
29	木	9:30		市内の文化財★追加	3	古代寺院から五輪塔群へ	現地

※◎がついている講座は聴講可能講座です。



「対話が創る新しい世界」東南アジアフェア

12月10日(日)に、東南アジアフェアを実施しました。



スラジャさん

ネパールには色々なお祭りや美味しいものがあるそうです。



パリナムさん

ネパールはヒマラヤ山脈とタライ平原があり気候も全く異なるので多様な自然があり、象やトラ、サイ、900種以上の野鳥もいるそうです。



ベトナムコーヒーを淹れるホンさん。練乳を入れ、金属製の独自のフィルターを使って濃く抽出します。模様も華やかな衣服はベトナムの民族衣装「アオザイ」です。

カンボジアの国花「Phka Rumduol
(カー・ロンドゥール / ロムドゥオル花)」



講座の後、カンボジア ソジェットさん

出身のソジェットさんがロムドゥオルという花について説明してくださいました。桜のように木に咲く花で、良い香りがします。カンボジアでは女性の美しさに例えられる花です。寺院にロムドゥオルの髪飾りをしたアプサラ(踊り子の天女)の彫刻があったり、生活の中では編んで車内に飾って芳香剤にしたりもするそうです。

ちなみに、アンコールワットもあるシェムリアップ市で配られているマンホールカードはロムドゥオルのデザインです。



ロムドゥオルの花